八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン

八チクラ

ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部

2015. vol.5
Take Free

スノーパラダイス 八幡平

08 八幡平に生きる人 10 食材を求めて産直へ／今日のひと皿
12 自然王国へようこそ 15 ディープスポットを訪ねる 16 ビッキーと行く八幡平

雪の中からひょっこりと顔を出すテン。
これも冬ならではの出会い。

スノーパラダイス
八幡平

**岩手山が白化粧を始めると、八幡平は長い冬に入る。
寒くて家に閉じこもりがちになるけど、
気分まで冬ごもりしてしまうのはもったいない。
八幡平には冬ならではの楽しみであふれているのだから。**

写真／LODGEクラブマン

雪が降るから おもしろい遊びができる

雪の上に点々と残る動物の足跡を発見するとワクワクしてくる。動物の姿を見かけると感動を覚える。大地を雪で覆い隠す冬は、動物の痕跡を見つけやすい。

スノーシューを履けば、ふだん入ることができない場所へも歩いていける。クロスカントリースキーなら、さらに行動範囲が広がる。そうして林に入っていくと、枝を伝うリスと出会ったり、木々の冬芽を観察したりと、街では体験できないことでいっぱいだ。

ネイチャーウオッチングだけじゃない。かまくら、ソリ遊び、雪合戦、氷遊びもある。雪景色を写真に撮るのもいいだろう。「雪」と「冬」をキーワードにし、想像力を広げれば、幾通りの遊びができる。それがスノーパラダイス八幡平の冬の楽しみ方である。

美しく、遠くへ跳んで目指せ！オリンピック

ジャンプ競技は間近で見るのがおもしろい

東北地方にはスキージャンプ台が3カ所しかない。その一つが「田山スキー場矢神飛躍台」だ。国体やインターハイの開催実績を持ち、平成28年（2016）に開催される「希望郷いわて国体」の競技会場にもなっている。

ジャンプ台を間近に見ると、思いのほか急斜面。「テレビと実際に見るのでは大違い」「百聞は一見に如かず」を実感する。朝早くから地元の人が整備したジャンプ台を選手たちが滑走、飛翔していく。スキーが滑る音、風を切り着地する音に実際に見るほうがおもしろいと感じる。

土地柄、八幡平市内の子どもたちはスキーに親しみ、スキー選手を目指している子どもたちも多い。この中から、将来のオリンピック選手が生まれるかもしれない。

※ジャンプ台には、選手・関係者以外、登ることはできません。ご了承ください。

雪遊び、いろいろ

スノーパラダイス 八幡平

スキー

上質なパウダースノーに恵まれた八幡平は、スキーのメッカ。コースもバラエティに富み、初級者から上級者まで楽しめる。

スノーシュー

昔はかんじき、今はスノーシュー。これを履いて、雪原や林を歩けば、冬の楽しみ方の幅が広がる。

雪見風呂

冬の八幡平で外せないのが温泉。遊んだ後はもちろん、温泉を目当てにじっくりと滞在するのも良し！情緒に浸りたい。

バナナボート

八幡平リゾートパノラマスキー場にあるバナナボート。子どもたちに人気のアクティビティだが、実は大人にも好評。

かまくら

かまくらをつくったら、中でコーヒーブレイク。これぞ、大人の愉しみ。雪が多い八幡平ならではの楽しみ方。

■スキー場

安比高原スキー場……TEL 0195-73-5111
八幡平リゾートパノラマスキー場…TEL 0195-78-2577
八幡平下倉スキー場……TEL 0195-78-3456
田山スキー場……TEL 0195-73-2650

●体験プログラム

イーハトーヴォ安比高原自然学校…TEL 0195-73-6228
LODGEクラブマン……TEL 0195-78-3388
ロッジタンデム……TEL 0195-72-5219

八幡平で冬メシ

「スキーへ行ったら、これだけは食べたい」というものがある。ラーメンだったり、豚汁だったり、ホットワインだったり、人それぞれだ。ここでは、いま八幡平に来たら食べておきたいメニューを紹介。

下倉スキー場の「シナモンロール」

下倉スキー場のパウダーステーションに入ると、シナモンロールの焼きたて香りが漂ってくる。その香りに、「食べてからゲレンデに出るか。いやいや、パウダースノーを楽しんでからにするか」と悩んでしまう。温かいシナモンロールとバニラアイスの相性も抜群！ 下倉湧水で淹れたコーヒーとともにどうぞ。

下倉スキー場オリジナルの「シナモンロール」は1個300円。コーヒー付きは500円、コーヒーとバニラアイス付きは600円。

八幡平リゾート下倉スキー場
TEL 0195-78-3456
営業時間／8:30～16:00（3月30日～終了日は9:00～16:00）
※シナモンロールの販売は10:00～（電話予約も可）

八幡平ハイツの「杜仲茶ポークのカツカレー」

八幡平市のブランド肉「杜仲茶ポーク」を使ったボリュームたっぷりのカツカレー。杜仲茶ポークは脂身が少なく、あっさりとした味から、近年、健康指向の人に注目されている肉である。甘さとスパイシーさが絶妙な調和をとっているカレールウが肉のおいしさを引き立てている。

「杜仲茶ポークのカツカレー」は1,100円。
平日（11:30～13:30L.O.）のみのメニュー。

八幡平ハイツ
TEL 0195-78-2121
営業時間／11:30～14:00（L.O.13:30）
※土・日曜、祝日は、ランチバイキングのみ

春はすぐそこに

初春の風物詩「雪の回廊」と桜

冬の間、通行禁止だった「八幡平アスピーテライン」が4月下旬に開通する。その時期に見られるのが「雪の回廊」だ。道路の両側にそびえる雪の壁は迫力満点で、冬とは違った雪の魅力が感じられる。

しばらくすると桜の季節が訪れる。岩手山を背景に凛と立つ「上坊牧野の一本桜」をはじめ、八幡平市内の桜が華やぐ。

春が生命の躍動を感じさせるのは、その前に長い冬があるからかもしれない。

八幡平アスピーテラインの「雪の回廊」。（天候によっては通行止めになる場合もございます。ご了承ください。）

平笠地区にある「上坊牧野の一本桜」は、知る人ぞ知る名所。残雪の岩手山を背景に立つ姿が美しい。

1 八幡平市でのスキーの醍醐味は、パウダースノーが味わえること。

2「このように木に囲まれたところで、カモシカは休むのです」と斎藤さん。

3 イーハトーヴォ安比高原自然学校。

profile

さいとう ふみあき
1958年、八幡平市（旧安代町）出身。高校卒業後、長野県・志賀高原にある杉山スキー＆スノースポーツスクールでスキー教師の技術を学ぶ。26歳で帰郷し、安比高原に入社。2001年より安比高原自然学校校長。

#6 イーハトーヴォ安比高原自然学校校長 斎藤文明さん

八幡平市の自然環境や歴史文化を生かした体験プログラムを提供している「イーハトーヴォ安比高原自然学校」。その校長を務めている斎藤文明さんは、フィールドに出ると、少年のような満面な笑顔となる。動物の痕跡や植物の生命の息吹を見つけては、体験者の興味に応じて、説明していく。

「このように雪の上にウサギやカモシカの足跡が残っている。この足跡を追っていくと、巣穴にたどりつくのです」

白銀の安比高原。ホテルに隣接する林にも、小動物はやってくる。

「雪で大地が覆われる冬のほうが、動物の痕跡を見つけやすいから、フィールドを歩いていても楽しいし、いろいろな体験ができますね」

足跡をたどると、カモシカの糞や休んだ跡があり、その場所は見晴らしがよい。その痕跡から、動物の行動を想像する。

「子どものころ、ウサギがここを通るから罠をしかけようとか、生活の中での自然としか捉えてなくて、興味がありませんでした。しかし、自然学校で体験プログラムをつくるようになって、改めて動植物の生態系を学んでみると興味深く、おもしろいことに気がついたのです」

足跡一つから動物の生活、その先にある自然環境を紐解いていくと郷土の厳しくも豊かな生活文化に気づいた。その後は、野鳥のさえずりにも興味を持つようにもなった。

冬の自然の楽しみ方は、スキーやスノーボードだけじゃない。スノーシューで林を散策することもできる。斎藤さんは、「自然を体験しながら学ぶことで、想像力が広がり、楽しみ方の幅が広がる」という。寒いからといって、家に閉じこもっているのはもったいない。幾通りもある楽しみ方を斎藤さんは提案し続けている。

八幡平に生きる人

八幡平には、いろんな人がいて、
いろんなことを考えている。
共通するのは、
「ここって、いいまちだよね」。
暮らしてこそわかる、
八幡平の魅力とは——。

見て、知って、感動
暮らしのそばにある自然

肥料袋でソリ遊び。道具がなくても、身近なものを代用して遊ぶのも体験の一つ。

春を待つ田んぼ。5月になると
水が張り、田植えが始まる。

3・4月の産直情報

八幡平市の豊かな自然に培われた農作物や花々、手づくり総菜……。
産直には、ふるさとの宝が集まっている。

産直りんどうの里

ドライフラワーの新作のリースが続々登場！ お気に入りのものを入手するにはお早めに。冬物野菜もあり。

八幡平市清水92-1 TEL0195-72-2160
営業時間／9:00～15:00 定休日／月～金曜

道の駅にしね

大きな原木ジャンボしいたけや根菜類、クルミ、漬け物が並ぶ。フキノトウなど春の味も出始めるころ。

八幡平市大更2-154-36 TEL0195-75-0070
営業時間／9:00～17:00（4～10月は18:30まで）
定休日／12月31日・1月1日

戸沢生産物直売所

赤カブの酢漬けや白菜キムチ、味噌なんばんなどの漬物がメイン。生産者によって異なる味を楽しみたい。

八幡平市戸沢129-1 TEL0195-72-3269（藤村宅）
営業時間／8:00～16:30 定休日／8月14日、1月1日～3日

松っちゃん市場

手打ち十割そばとホロホロ鳥の出汁を使った特製つゆを販売中。ジャガイモなどの常備野菜もどうぞ。

八幡平市松尾寄木2-512 TEL0195-78-3002
営業時間／9:00～16:30（5～10月は18:00まで）
定休日／火曜（10月は無休）・12月31日～1月2日

匠の里とんじゃ

春彼岸用の手づくり大福は評判で、予約も受付中。店の前でつくっている寒干し大根も人気商品。

八幡平市戸沢129-1 TEL0195-72-2460（羽沢宅）
営業時間／8:00～17:00 定休日／1月1日～1月3日
※4月下旬まで営業

物産館あすぴーて

春先まで各種リンゴやリンゴ100％ジュースが多くそろう。この時期品薄になる水菜など葉物野菜もあり。

八幡平市柏台1-28 TEL0195-78-3480
営業時間／9:00～16:00（12～3月は要問合せ）
定休日／水曜、12月31日・1月1日（11～4月は要問合せ）

冬期休業情報（4月下旬まで）

安比高原直売センター
八幡平市星沢76-5 TEL 0195-72-6821

畑学び舎農産物直売所
八幡平市赤坂田40-2 TEL 0195-72-6226

産直大地

雪の下から掘り出した雪ごもりキャベツは甘く、生でも火を通してもおいしい。長芋、ゴボウなども豊富。

八幡平市平舘15-124 TEL0195-68-7310
営業時間／9:00～17:00 定休日／12月31日～1月4日

●積雪等天候により、営業時間の変更・臨時休業の場合があります。ご了承下さい。

～食材を求めて産直へ～

今日のひと皿

八幡平マッシュルームのクリスタルサラダ

馬糞と温泉熱を活用し育てられた「八幡平マッシュルーム」。

採れたての「八幡平マッシュルーム」の香りと味を楽しむなら、サラダが最適。スクランブルエッグの上に八幡平マッシュルームを乗せ、パプリカや水菜など、お好みの野菜をたっぷりと。仕上げは、バルサミコ酢のドレッシングで。

「まろやかなホワイト種、味も香りもしっかりしているブラウン種を使い分けるのもいいですね」と勝又誠一郎シェフ。

「白ワインとともにどうぞ」とBeaverの勝又誠一郎シェフ。

●「八幡平マッシュルームのクリスタルサラダ」のレシピは、「ハチクラ」ブログに掲載中！

絶景が望める山々、緑豊かな森の中、風渡る牧野。
休日は、心のままに自然が感じられる八幡平へ——。

モリアオガエルに魅せられて ファインダー越しに見る八幡平

Welcome to The Nature Kingdom

三浦学さん

ワイルドグレープファーム・山葡萄農園代表
フォトグラファー

モリアオガエルは、樹上で暮らす森の住人。三浦さんは、貴重なカエルを多くの人たちに知ってもらい、「ビッキー」というキャラクターをつくり、自然の大切さを伝えている。

山ブドウの栽培をしながら、ライフワークとして、モリアオガエルを撮り続けている三浦学さん。

「八幡平市の大揚沼とモリアオガエルは、国指定の天然記念物になっていますが、意外と知られていないのです」

三浦さんは、樹上に棲むこのカエルに神秘さを感じるという。

「モリアオガエルは、自然豊かな地にしか生息しない。それだけ自然が残っています」

撮りたい自然がたくさんあり、全国の人に伝えたい想いがある。朝早くから山に登り、カメラを構える。そのかたわらには、いつもビッキーがいる。彼らの情報発信はこれからも続く。

みうら がく

1973年、神奈川県横須賀市出身。大学卒業後、カメラマンとして活躍。2008年秋、八幡平に移住。山ブドウの栽培のほか、ジュース、山ブドウの塩やピクルスなど、新しい分野にも挑戦している。

撮影強力／県民の森 森林ふれあい学習館フォレストi

ブラードフォトの ここで撮影しよう

Catch the HACHIMANTAI

八幡平市在住のプロ・アマカメラマンがイチオシする、八幡平市らしさたっぷりの撮影スポットを紹介！

location 花輪線

岩手山から安比高原までを一望できる北森付近。日が沈み、辺りが夜の帳に包まれつつある17:21。汽笛とともに雪原を照らしながら列車が駆け抜ける。撮影チャンスは約５秒間。ISOを高感度に設定し、遠方からしっかりとピントを合わせながら、前もって決めていたフレーミングに入ったらシャッターを切るのがポイント。　撮影時期　1月下旬・北森

ブラードフォトとは……

若手中心のプロ、アマ問わないフォトグラファーのグループ。大自然、風土、風習など写真を通じて、八幡平の魅力を広く世界に発信していくことを主たる目的としている。ブラード（blurred）は英語で「はっきりしない、ぼやけた」という意味で、ピンボケ写真を撮らないようにという戒めの意味を込めている。

読者の声 << readers voice

ハチクラ第４号に寄せられた読者のコメントを紹介。

●昭和31年に盛岡の高校を卒業後、就職。勤務地が鹿角市（花輪町）でした。当時は機関車、竜ヶ森を喘ぎ喘ぎ走る汽車が懐かしいです。（匿名希望）

●数年前の４月、雪の八幡平頂上へ行きました。駐車場から30分かけて歩き、頂上から眺めた景色のすばらしさ。またいつか見に行きたいです。（Y・T）

●幼稚園のころから、冬は安比高原スキー場へ行っていました。近くにこんなすばらしい場所があるなんて、恵まれ過ぎ。来春は岩手を離れる予定ですが、自然の中で育ったことを誇りに思い、忘れずにいたいと思います。（H・A）

●盛岡からミニ遠足気分で行ける八幡平市は私の憧れの地。「ぶらっと一日体験工房」がこんなにあるのにびっくり！　仲間と参加してみたいです。（匿名希望）

●宿で、ふと目に留まった貴誌に八幡平に生きる人々の息遣いを感じ、地元パワーに圧倒されました。ちょうど畳を交換しようと思っていたので、田鎖さんの話はとても参考になりました。（M・I）

こんにちは！ 八幡平市地域おこし協力隊です

新鮮！　雪国ファッション

東京・裏原宿では、真夏でもニット帽にブーツ姿の女の子たちが歩いていた。「この組み合わせが、一番バランスよく見えるの」。彼女たちは口をそろえた。おしゃれのためなら、足や頭が蒸れるのも、ものともせず。私は、そんなファッション上級者にはなれなかったが、ここで冬を迎えることになり、「裏原系ストリートファッションもどき」に挑戦している。毛糸の帽子と長靴の組み合わせは、ふだんのマンネリ化した服装に「重み」をプラスしてくれて、なんだか新鮮。町を歩く人たちも、水玉柄やカラフルな刺し色を効かせて個性的だ。私もがんばるぞー。　（今川友美）

宮田神社と平笠裸参り

八幡平市平笠

願いを込めて、
寒風のなかを歩く

岩手山を間近に望む平笠地区にある「宮田神社」は、毎年1月8日の初薬師の日には多くの人でにぎわう。

朝9時、白装束に身を包んだ一行が境内に入ってくる。「平笠の裸参り」の始まりである。約300年の歴史を持つこの行事は、女性や子どもの参加が多い荒行として知られる。

境内で神事を行った後、神官を先頭にほら貝、のぼり旗、お賽銭、お供え餅などを持った人々が続く。白装束に身を包み、白鉢巻きを締め、唇に魔除けの口紙をくわえている。長さ3メートルもある験竹（けんざお）が風に揺れ、倒れそうになっても踏ん張って歩き続ける。目指す先は8キロ先にある「大更八坂神社」。無病息災、家内安全、五穀豊穣を願い行われる行事には、八幡平市に住む人々の幸せを願う気持ちも込められている。

ハチクラ
ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部
2015.Vol.5　平成27年2月25日発行

※本誌に掲載している情報は、平成27年2月1日現在のものです。発行後のデータ等が変更になっている場合があります。あらかじめご了承ください。※本誌掲載の記事・写真等の無断掲載を禁止します。

企画・発行
八幡平市商工会　岩手県八幡平市大更35-63-85　TEL 0195-76-2040
「ハチクラ」に関する問い合わせ
八幡平市商工会安代支所　TEL 0195-63-1001
印刷所
大更印刷株式会社　岩手県八幡平市大更21-16-9　TEL 0195-76-2514

Present

本ページのアンケートに回答してくださった方から抽選で、冬の八幡平市を楽しめるチケットをプレゼント！　奮ってご応募ください。

❶ 八幡平リゾート　1名様
ペア宿泊券（1泊2食付）
※利用期間／2015年5月7日～2015年7月31日

❷ 安比高原スキー場　1名様
ペア・リフト券
※使用期限／2015年5月6日（スキー場営業期間内）

❸ 八幡平ハイツ　2組
ランチバイキング＆温泉入浴券 ペア券
※2015年8月30日までの土・日曜、祝日のみ使用可能

プレゼント＆アンケート

官製はがきに、もしくは八幡平市商工会HPの「ハチクラ」入力フォームに、●アンケートの回答、●ご希望のプレゼント番号、●住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、ご応募ください。

●住所／〒028－7533 岩手県八幡平市叺田70
八幡平市商工会安代支所「ハチクラ」係
●応募締切／2015年3月20日（金）当日消印有効
●八幡平市商工会HP
http://www.shokokai.com/hachimantai/

※当選は商品の発送をもって代えさせていただきます。
※今回、ご記入いただいた個人情報は、八幡平市商工会の個人情報保護方針に基づき、責任をもって管理します。本人の同意を得ずに第三者に開示することはありません。

「ハチクラ」Vol.5　読者アンケート

今号「ハチクラ」はいかがでしたか。今後、充実した内容にするため、皆さまの声をお聞かせください。

【問1】ハチクラをどこで入手しましたか？

【問2】本誌を入手の動機は何ですか。（複数選択可）
1. 表紙に惹かれたから
2. 内容がおもしろそうだったから
3. 八幡平市の観光に興味があったから
4. 地元の情報を知りたかったから
5. 無料だったから

【問3】今回の記事でおもしろかったものを挙げてください。（複数選択可）
1. 特集「スノーパラダイス八幡平」
2. 八幡平に生きる人
3. 食材を求めて産直へ「今日のひと皿」
4. 自然王国へようこそ
5. ブラードフォトのここで撮影しよう
6. こんにちは！ 八幡平市地域おこし協力隊です
7. プレゼント＆読者アンケート
8. ディープスポットを訪ねる
9. ビッキーと行く八幡平

【問4】クイズです。八幡平市でスキージャンプ台があるスキー場の名称はなんでしょう。
1. 田山スキー場
2. 安比高原スキー場
3. 八幡平リゾート下倉スキー場

「ハチクラ」こぼれ話

今号の「今日のひと皿」で紹介した「八幡平マッシュルーム」。取材後、勝又シェフがサラダのほかにもう一品をつくってくれました。ブラウン種の香りと味を生かした「八幡平マッシュルームのソテー」。みじん切りしたニンニクをオリーブオイルとバターで熱した後、薄切りしたマッシュルームを炒めるだけというもの。ワインが飲みたくなるひと皿です。

WEB通信の「ハチクラ」もチェック！

フリーマガジン「ハチクラ」の取材中に得たこぼれ話、「今日のひと皿」のレシピなどを掲載。あわせて、ご覧ください。

ブログ　http://hachikura.net/
facebook　https://www.facebook.com/hachikura
●「ハチクラ」は八幡平市商工会HPでもご覧いただけます。

バックナンバーのご案内

「ハチクラ」のバックナンバーのお求めは
八幡平市商工会安代支所
（TEL 0195-63-1001）まで
ご連絡ください。
送料はご負担お願い致します。

ハチケン
ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部　2015. Vol.5　平成27年2月25日発行　発行：八幡平市商工会

ビッキーと行く 八幡平

「新庁舎探検隊」

撮影地／八幡平市役所

●ビッキーとは、八幡平市の非公認マスコットキャラクター。その正体は、樹上で暮らす森の住人・モリアオガエル。「大揚沼とモリアオガエル」は国指定の天然記念物です。

撮影
三浦 学
WILDGRAPE FARM・八幡平山ぶどう農園代表

昨年末より、新しくなった八幡平市役所。まだ新築の香りがただよう３階の議場を見学させてもらい、やっとこさマイクを握って「議長っ！　議長っ！」と大騒ぎ！　すっかりなりきっていました。

騒いでお腹が空いたので平館駅入口のたこ焼き屋「多幸」へ。数あるメニューの中から「しょうゆの極み」を！　じっくり焼いたアツアツの大粒をいただいてごきげんです。

●営業時間／11:30～20:00頃（なくなりしだい終了）●定休日／火曜

Take Free